

2019年度 事業報告書

(自 2019年6月1日 ~ 至 2020年5月31日)

公益社団法人

日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟は、日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の事業を実施した。

1. 競技普及振興活動

(1) そり競技体験会事業

小中学生を対象としたそり競技体験会を傘下の道府県連盟主催で実施し、競技登録者とそり競技ファンの増加拡大に努めた。

台風 19 号の影響や、暖冬による雪不足、新型コロナウイルスの国内感染拡大から、当初予定していた行事数を削減し、規模も縮小して開催した。

開催日	行事名称	参加数(人)	開催地	会場
2019/6/22	プッシュボブ・スケルトン体験会	15	宮城	仙台大学
2020/1/26	スケルトン体験教室	28	北海道	札幌市内
2020/2/8		30		
2020/2/9		45		
2020/2/11		44		
2020/2/11	スケルトン全道大会	30		

(2) 選手発掘測定会(トライアウト)事業

本年度も JSC スポーツ振興くじ タレント発掘・育成プログラム助成を得て、測定会、育成合宿共に、事業計画を上回る回数で実施し、新人選手の発掘と、発掘した選手の育成を行った。

<選手発掘測定会> ※NO.2 は大阪連盟主催

NO.	開催日	参加数(人)	開催地	会場
1	2019/6/1	9	東京	代々木公園
2	2019/7/6	7	兵庫	加古川運動公園
3	2019/7/21	10	宮城	仙台大学

本年度発掘選手の中から、JOC 強化指定選手 3 名(ボブスレー)と、NF 指定選手 1 名(スケルトン)を選考出来た。

<育成合宿>

NO.	開催日	参加数(人)	開催地	会場
1	2019/7/26-28	7	長野	スパイラル
2	2019/8/1-4	7		
3	2019/8/15-18	6		
4	2019/8/22-26	2		
5	2019/9/27-29	9	東京	味の素トレセン
6	2019/12/14-25	4	ドイツ	ウィンターベルク
7	2020/1/22-2/10	3		
8	2020/2/2-2/11	3		
9	2020/2/16-3/6	6	米国	パークシティ

育成合宿に参加したボブスレー選手 1 名とスケルトン選手 3 名が、ドイツ ウィンターベルクで開催されたジュニア世界選手権に挑戦。また、スケルトン選手 2 名がユースオリンピックに出場し、1 名が 5 位の成績を収めた。

スポーツくじ



(3)国際大会・全国大会事業

ボブスレー・スケルトン全日本プッシュ選手権大会を、昨年と同水準の参加人数で事業計画通りに開催した。

行事名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
2019 全日本プッシュスケルトン選手権大会	長野	スパイラル	2019/8/3	25
2019 全日本プッシュボブスレー選手権大会				19



-プッシュスケルトン-



-プッシュボブスレー-

(4)審判資格者育成事業

講習会を活用して審判員資格の研修を行い、計画を上回る延べ 24 人が受講した。

行事名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
ボブスレー・スケルトン 公認コーチ養成講習会	東京	味の素トレセン	2019/6/16	6
スケルトン 育成選手ルール講習会	長野	スパイラル	2019/9/29	10
ボブスレー・スケルトン 大阪連盟ルール講習会	兵庫	サンライフ明石	2019/11/16	8

(5)長野スパイラル利用拡大推進事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、本年度も活動を休止した。

(6)広報・ファンドレイジング活動事業

閲覧者が見やすいデザインにホームページを改修し、指定選手の紹介コーナーを新たに設け、オリンピックメダリスト育成支援の新規スポンサー候補に対して、ホームページから情報発信する準備を整えた。

2020年4月1日のエイプリルフールにサンリオとコラボし、若者に人気のアニメキャラクターが、ボブスレー選手に扮してホームページに動画登場する企画が奏功し、1日平均200件前後のホームページ閲覧数が、4月1日は9,000件に急増した。

そり競技ファンを増やす新たな広報活動、新規スポンサー発掘の為の道具として、ホームページを活用した取組みを今後も継続する。



The screenshot shows the homepage of the Japan Bobsleigh-Luge and Skeleton Federation (JBSLF). The header includes the JBSLF logo and navigation tabs for Home, News, About, Member, Career, Contact, and Links. A news article titled "新ボブスレーチーム「DOKONJOFINGER」結成のお知らせ" (New Bobsled Team 'DOKONJOFINGER' Formation Notice) is featured. The article, dated April 1, 2020, announces the formation of a 4-person team from Rikkyo University. It includes a video player with a thumbnail showing the team's slogan "滑走手段はボブスレーです" (The sliding method is bobsled) and a link to the YouTube video. The article text describes the team's formation and their goal to compete in the 2020-21 season.

2. 競技者強化と指導者養成活動

(1) ナショナルチーム選抜・強化事業

例年の JOC 選手強化助成事業に加え、当年度は、新たにボブスレーの海外遠征事業を、北野財団助成「スポーツ部門支援」、スケルトンについては、JSC 委託助成「次世代ターゲットスポーツの育成支援」を得て、オリンピックでのメダル獲得を目指した競技の強化を行った。

-1. ボブスレー

当年度から新たに募集が開始された、北野財団助成「スポーツ支援部門」に採用が決定し、JOC 強化事業の助成金不足を補填し、長期の海外遠征事業を実施できた。

ドイツ人コーチ起用の成果で、マテリアル(そりとランナー)は強豪国と互角水準になり、当年度も他競技トップクラス選手をブレイカー選手に選抜し、パイロット選手がヨーロッパコースの滑走経験を重ねた結果、プッシュタイムは前年度から伸びたものの、世界上位とではまだ 2%の開きがある。

【1.強化報告】

① 選手発掘

測定会で陸上トップ選手を 2 名、スカウティングでプロアメリカンフットボールを選手 1 名、新人計 3 名を発掘して日本代表合宿に招聘し、全員が選考基準に合格して海外遠征を行った結果、スタートタイムを昨年より 1.5%向上させる事が出来た。

② パイロット強化

トップパイロット選手は、年間 200 本超の滑走数をこなして着実にスキルアップを果たしたが、世界のライバルも成長したので、期待した差までは縮められなかった。セカンド、サードパイロット選手は、さらなる滑走スキルの向上が課題となる。

③ マテリアル

トップパイロット選手が、2 人乗り、4 人乗りともに、ドイツ人ヘッドコーチが開発制作した新しいオリジナルそりで大会に参戦した。

乗り始め当初は操作感覚の違いから苦戦したものの、選手の特性に合わせたハンドリングの改良で徐々に乗りこなし、後半戦ではドライビング感覚も向上し、上位チームとのタイム差を縮めた。

④ コンディショニング

海外遠征中の選手救急搬送事故が当シーズンでは多発した。プッシュトレーニング中の頭部外傷 1 名、滑走中の頸部損傷 2 名、ウォームアップ中のアキレス腱断裂が 1 名。いずれも帯同トレーナーの適切な判断と応急処置で重大事故には至らなかった。

滑走中、トレーニング中のどんな場面に危険が潜んでいるのかを再確認し、一覧化して選手に分かりやすく示すことで、重大事故の発生を予防していく。

【2.国内強化合宿】

NO.	開催日	参加数(人)	開催地	会場
1	2019/6/12-16	12	長野	長野スパイラル
2	2018/7/9-14	11		
3	2018/8/2-8	12		
4	2018/9/9-16	13		

-2. リュージュ

以下の事業で JOC 強化指定選手 3 名、JBLSF 指定ジュニア選手の育成を行った。

事業名	開催期間	開催地	参加数(人)
第 1 回国内合宿	2019/7/12~17(6 日間)	長野	15
第 1 回コントロールテスト	2019/7/15		15
第 2 回コントロールテスト	2019/8/25	札幌	6
第 2 回国内合宿	2019/9/21~23(3 日間)	長野	10
第 1 回海外合宿	2019/10/29-12/23(58 日間)	オーストリア・ドイツ	4
海外合宿	2019/11/14-22(9 日間)	ドイツ	6
第 2 回海外合宿	2020/1/25/~2/25(32 日間)		3

【1.強化報告】

① フィジカル強化

ウェイトトレーニングを柱にしたトレーニング指導を行い、選手の基礎筋力を高めると共に、筋力維持トレーニングの継続と管理を選手に習慣付けた。

② 滑走経験増

昨年度の倍に当たる 3 ヶ月間の海外合宿・遠征を行い、異なる海外コースで滑走本数増と国際大会経験数を増やし、レベルアップの要となる滑走経験を、強化対象選手に蓄積させた。

夏季コントロールテストの基準を満たした選手に対しては、強化対象を見極める為の海外合宿を実施した。

③ FIL(国際リュージュ連盟)支援

FIL 育成プログラムを活用した海外遠征を実施。FIL ジュニアコーチの支援により、これまで日本人コーチだけでは手が回らなかった、滑走映像のフィードバックや、コースサイドでのコーチングを行うことにより、選手が得る情報量と質を高め、修正点を分かり易く把握させた。

④ 海外遠征

女子ダブルスを重要種目と位置付け、2020 ユースオリンピックローザンヌ大会出場を目指したが、練習中の転倒による足首距骨骨折で 1 名が緊急帰国し、女子ダブルスへの道は断たれた。残ったもう 1 名は女子シングルでユースオリンピックに出場したが、結果は振るわなかった。

男子シングルは、ジュニア世界選手権で昨年度を上回る 15 位以内を目指し、対象選手 1 名の強化を行ったが、大会コースでの操作感覚を本番までに掴みきれず、目標は達成しなかった。

-3. スケルトン

故居石強化部長の企画が JSC 委託助成事業「次世代ターゲットスポーツの支援」に採用され、JOC 事業助成費の不足を補い、メダリスト輩出の仕組みづくりと選手の育成に取り組んだ。

選考基準を満たせば国際大会に派遣した従来のやり方を改め、2026 年オリンピック ミラノコルチナ大会でのメダル獲得を目指し、強化対象選手を長期計画で育成強化する方針に切り替えた。

スケルトン競技の3要素 “プッシュ”、”滑走”、”マテリアル”の中で、当年度は特に”プッシュ”に着目。最初からスプリント能力の高い選手を選抜し、計画的に育成・強化する強化戦略プランを策定。強化対象選手選出選考会で4名のジュニア選手を選抜し、強化合宿、国際大会に参戦した。

一方、来年度でのワールドカップ出場 2 枠確保を目指し、EC(ヨーロッパカップ)参戦事業をシニア選手の力にゆだねたが、目標の達成には至らなかった。

【1.強化報告】

① 夏季強化

スプリント能力向上に特化したトレーニング合宿を実施するとともに、選手が地元で単独でもできるトレーニングメニューと測定項目を策定し、ウェブでの遠隔指導を行った。

② 冬季強化

10 月上旬に氷上スプリント能力向上を目指した合宿兼記録会を行い、夏季トレーニングの進捗を確認し、シーズン直前には、氷上滑走技術習得の事前準備を行った。

対象選手全員がプッシュタイムを向上させたが、2026 年オリンピックメダリストに到達する為の、年次指標データを強化部が定められなかった為、技術向上の年間目標を達成したかは判断できない。来年度当初に指標データを定め、育成継続の有無を年次で見極めていく。

③ 実戦滑走練習

トップスピードが高く、攻略が難しいと言われるカナダ・ウイスラーを敢えて拠点と定め、滑走本数の増加を目指したが、新型コロナウイルスの影響で合宿を 1 ヶ月早く切り上げたため、昨年度の 100 本に対し、当年度実績は 120 本に留まり、目標の 180 本には届かなかった。

平昌オリンピック元イタリア代表選手に技術指導を依頼し、北米コースの攻略方法やマテリアル選択についても学んだ。

④ コンディショニング管理

成長期のジュニア選手に大切なコンディショニング管理を海外合宿に取り入れたが、食事や環境の違いから、特に徐脂肪体重コントロールがうまくいかず、海外で最善のコンディションを維持する困難さが浮き彫りになった。栄養士の帯同を計画した 3 月合宿は、新型コロナウイルスの影響を受けて実施できなかった。

【2.強化合宿】

NO.	開催時期	参加(人)	開催地	会場
1	2019/5/10-12	10	東京	味の素トレセン
2	2019/7/11-13	10		
3	2019/9/5-7	5		
4	2019/10/4-11	5	カルガリー	カナダオリンピックパーク

(2)海外遠征・国際レース参戦事業

-1. ボブスレー

■ヨーロッパカップ(EC)

2019年度で目標に掲げた10位以内の順位を獲得できなかった。スタートタイムは向上したものの、順位には反映されず、結果として2年目で伸び悩んだ。

<男子2人乗り>

日程	大会名	開催地	順位	出場選手
2019/11/23	第1戦	ノルウェー・リレハンメル	16	篠原 凌 ・ 金子 慶輝
			17	浜野 達也 ・ 本間 圭祐
			20	高橋 功治 ・ 宍戸 亮太
2019/12/5	第2戦	ドイツ・アルテンベルク	18	篠原 凌 ・ 西田 健修
			20	浜野 達也 ・ 本間 圭祐
			28	高橋 功治 ・ 宍戸 亮太
2019/12/6	第3戦		16	浜野 達也 ・ 小林 寛雅
			17	篠原 凌 ・ 金子 慶輝
2019/12/13	第4戦	ドイツ・ヴィンターベルク	15	篠原 凌 ・ 金子 慶輝
			22	浜野 達也 ・ 小林 寛雅
2019/12/20	第5戦	ドイツ・ケニクゼー	20	浜野 達也 ・ 宍戸 亮太
			DNF	篠原 凌 ・ 金子 慶輝
2020/1/30	第8戦	オーストリア・イグルス	16	篠原 凌 ・ 金子 慶輝
			21	浜野 達也 ・ 村上 健二
			32	高橋 功治 ・ 西田 健修

<4人乗り>

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2019/11/24	第1戦	ノルウェー・リレハンメル	14	篠原 凌・金子慶輝・西田健修・本間圭祐
			15	高橋功治・宍戸亮太・高橋祐満・小林寛雅
2019/12/7	第2戦	ドイツ・アルテンベルク	DSQ	篠原 凌・小林寛雅・西田健修・本間圭祐
2019/12/14	第3戦	ドイツ・ヴィンターベルク	16	篠原 凌・金子慶輝・小林寛雅・西田健修
2019/12/15	第4戦		13	篠原 凌・小林寛雅・浜野達也・本間圭祐
2019/12/21	第5戦	ドイツ・ケニクゼー	19	篠原 凌・小林寛雅・西田健修・本間圭祐
2019/12/22	第6戦		21	
2020/1/31	第7戦	オーストリア・イグルス	19	篠原 凌・金子慶輝・村上健二・本間圭祐
2020/2/1	第8戦		17	篠原 凌・高橋祐満・西田健修・本間圭祐

■ワールドカップ(WC)

トップパイロットをパイロット経験2年目でワールドカップに挑戦させ、目標の20位以内を達成し、ハイレベルの大会で世界トップと競う経験値をチームと選手が得た。

また、今年度初めての試みとして、IBSF(国際ボブスレー・スケルトン連盟)が提供するWCレース動画をJBLSFホームページでも配信する事で、そり競技国際レースの国内紹介にも役立つ事が出来た。

＜男子2人乗り＞

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2020/1/11	第3戦	フランス・ラプラーニュ	19	篠原 凌・金子 慶輝 / 村上 健二
2020/1/18	第4戦	オーストリア・イグルス	20	篠原 凌・村上 健二
2020/1/25	第5戦	ドイツ・ケニクゼー	22	篠原 凌・金子 慶輝

＜4人乗り＞

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2020/1/3	第3戦	ドイツ・ヴィンターベルク	22	篠原 凌・金子慶輝・村上健二・浅野晃佑
2020/1/4	第4戦		21	
2020/1/12	第5戦	フランス・ラプラーニュ	19	篠原 凌・金子慶輝・村上健二・本間圭祐
2020/1/19	第6戦	オーストリア・イグルス	24	
2020/1/26	第7戦	ドイツ・ケニクゼー	24	篠原 凌・栗原 嵩・村上健二・本間圭祐

■ジュニア世界選手権大会

日程	種目	開催地	順位	出場選手
2020/2/8	男子2人乗り	ドイツ・ヴィンターベルク	21	高橋 功治・西田 健修

■世界選手権大会

世界選手権レベルの大会に出場したのは2014年ソチオリンピック以来。世界トップクラスと競い合う経験値を積み、目指すオリンピックメダリストの水準を再認識した。

日程	種目	開催地	順位	出場選手
2020/2/23	男子2人乗り	ドイツ・アルテンベルク	23	篠原 凌・金子 慶輝 / 村上 健二
2020/3/1	男子4人乗り		18	篠原 凌・金子慶輝・高橋祐満・村上健二

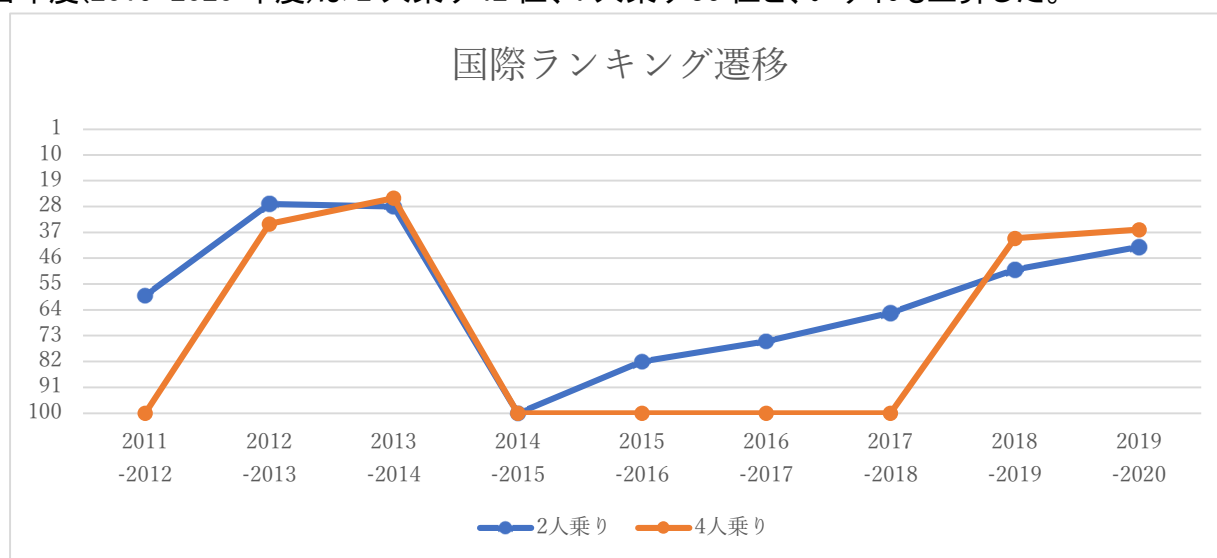
■女子モノボブ

北京オリンピックからの新種目だが、世界との差は大きい。

日程	大会名	開催地	順位	出場選手
2019/11/20	第2戦	ノルウェー・リレハンメル	18	森本 麻里子
2019/12/19	第3戦	ドイツ・ケニクゼー	15	

■ボブスレー国際ランキング

当年度(2019-2020年度)は2人乗り42位、4人乗り36位と、いずれも上昇した。



-2. リュージュ

<ジュニアワールドカップ>

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2019/12/7	第2戦	ドイツ・ケニクゼー	13	小林 誠也
2019/12/13	第3戦	ドイツ・アルテンベルク	13	
2019/12/15	第4戦		17	
2020/1/31	第5戦	ドイツ・ヴァンターベルク	20	
2020/2/2	第6戦		18	

<ユースAワールドカップ>

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2019/11/30	第2戦	オーストリア・イグルス	32	石川 雪姫
2019/12/1	第3戦		29	
2019/12/6	第4戦	ドイツ・ケニグゼー	27	
2019/12/8	第1戦(代替)		30	
2019/12/14	第5戦	ドイツ・アルテンベルク	28	
2020/2/1	第6戦	ドイツ・ヴァンターベルク	15	

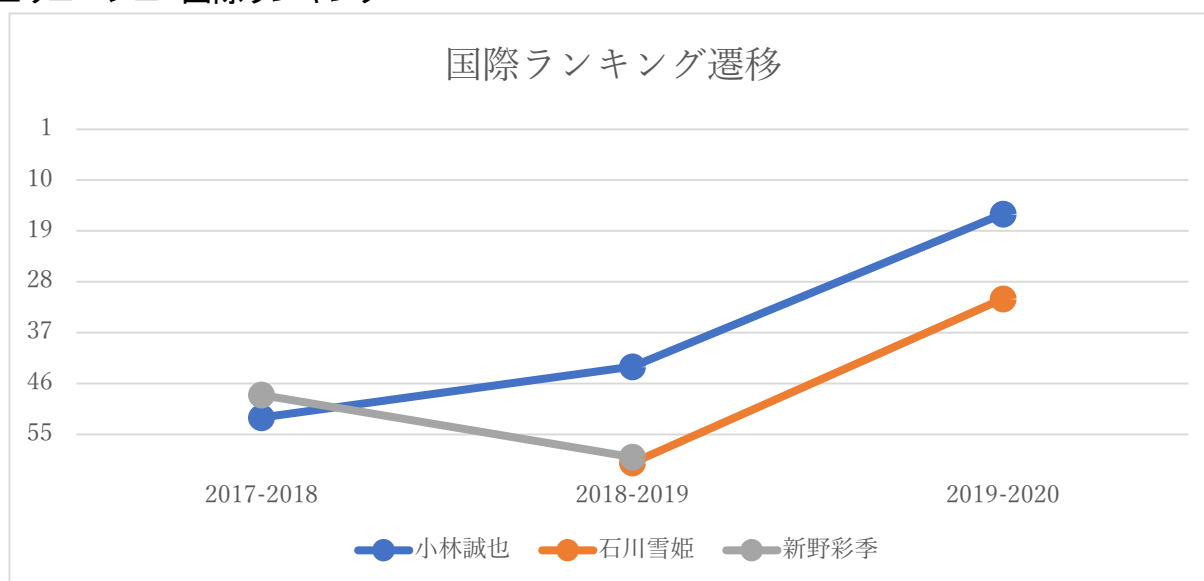
<ユースオリンピック大会>

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2020/1/17	女子1人乗り	スイス・サンモリッツ	22	石川 雪姫
2020/1/20	チームリレー(合同チーム)		11	

<ジュニア世界選手権大会>

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2020/2/21	男子1人乗り	ドイツ・オーバホーフ	28	小林 誠也
2020/2/21	女子1人乗り		37	石川 雪姫

■リュージュ 国際ランキング



-3. スケルトン

<ヨーロッパカップ(EC)男子>

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2019/12/8	第1戦	ドイツ・ヴィンターベルク	8 28	高橋 弘篤 黒岩 俊喜
2019/12/14	第2戦	ドイツ・ケニクゼー	16 31	高橋 弘篤 黒岩 俊喜
2019/12/15	第3戦		11 24	高橋 弘篤 黒岩 俊喜
2020/1/10	第4戦	オーストリア・イグルス	3 24	高橋 弘篤 黒岩 俊喜
2020/1/11	第5戦		3 28	高橋 弘篤 黒岩 俊喜
2020/1/18	第6戦	ラトビア・シグルダ	8 17	高橋 弘篤 黒岩 俊喜
2020/1/24	第7戦	ドイツ・アルテンベルク	11 19	高橋 弘篤 黒岩 俊喜
2020/1/25	第8戦		6 17	高橋 弘篤 黒岩 俊喜

<ジュニア・ノースアメリカンカップ(NAC)男子>

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2019/11/20	第1戦	アメリカ・レイクプラシッド	22	木下 凜
2019/11/21	第2戦		10	
2019/12/9	第3戦	アメリカ・パークシティ	6	
2019/12/9	第4戦		4	
2019/12/10	第5戦		6	
2020/1/6	第6戦	アメリカ・レイクプラシッド	16	
2020/1/6	第7戦		9	
2020/1/7	第8戦		11	

<ジュニア世界選手権大会 男子>

日程	開催地	順位	出場選手
2020/2/8	ドイツ・ヴィンターベルク	23	木下 凜
		30	長尾 太道

<ユースオリンピック オメガ ユースシリーズ大会>

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2019/11/20	第5戦	アメリカ・レイクプラシッド	2 3	長尾 太道 臼井 貴将
2019/11/21	第6戦		2 5	長尾 太道 臼井 貴将
2019/12/7	第7戦	アメリカ・パークシティ	優勝 4	長尾 太道 臼井 貴将
2019/12/8	第8戦		優勝 3	長尾 太道 臼井 貴将

<第3回ローザンヌ冬季ユースオリンピック大会 男子>

日程	開催地	順位	出場選手
2020/1/20	スイス・サンモリツ	5	臼井 貴将
		19	長尾 太道

<ヨーロッパカップ(EC) 女子>

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2019/12/8	第1戦	ドイツ・ウィンターベルク	15	上原 志津佳
2019/12/14	第2戦	ドイツ・ケニクゼー	14	
2019/12/15	第3戦		8	
2020/1/10	第4戦	オーストリア・イグルス	15	
2020/1/11	第5戦		19	
2020/1/18	第6戦	ラトビア・シングルダ	14	
2020/1/24	第7戦	ドイツ・アルテンベルク	14	
2020/1/25	第8戦		17	

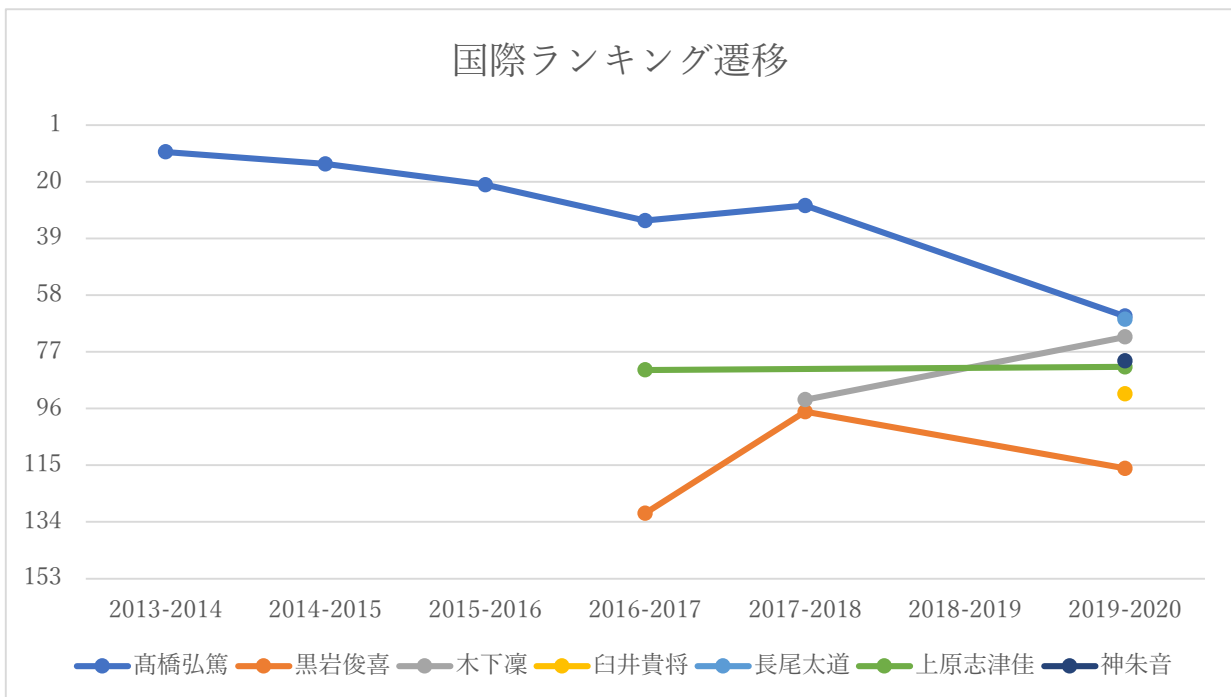
<ジュニア・ノースアメリカンカップ(NAC) 女子>

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2019/11/20	第1戦	アメリカ・レイクプラシッド	25	神 朱音
2019/11/21	第2戦		21	
2019/12/9	第3戦	アメリカ・パークシティ	9	
2019/12/9	第4戦		18	
2019/12/10	第5戦		12	
2020/1/6	第6戦	アメリカ・レイクプラシッド	11	
2020/1/6	第7戦		13	
2020/1/7	第8戦		10	

<ジュニア世界選手権大会 女子>

日程	開催地	順位	出場選手
2020/2/9	ドイツ・ウィンターベルグ	22	神 朱音

■スケルトン 国際ランキング



(3)指導者養成事業

初めて試みた東京開催も含め、合計 3 回の講習会を実施した結果、公認コーチ 3 資格取得候補者は 2 名、来年度での継続受講者は 4 名になった。

<公認コーチ 3 資格取得講習会>

NO.	開催地	会場	開催時期	参加(人)
1	東京	味の素トレセン	2019/6/15-16	5
2	長野	スパイラル	2019/7/13-14	4
3			2019/8/17-18	4



-第 1 回講習会(味の素トレセン)-



-第 3 回講習会(スパイラル)-

(4)長野スパイラルそり競技調査研究事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、スパイラルの機材を活用した同事業は 2019 年度も活動を休止した。

(5)医科学サポート推進事業

オリンピック強化指定選手/コーチを対象に、3 競技全体会議と夏季合宿の場でスポーツインテグリティ教育プログラムを実施した。スポーツインテグリティ・アンチドーピング教育プログラムを行うことで、自らの価値を守る知識と手段、正しい倫理観や道徳心を有する人間力高い選手への成長に向けた機会を提供した。また、インテグリティ講習については、JOC の研修プログラムを活用し、SNS 利用に関する講習を実施した。さらに、日本連盟が主催する全日本ボブスレー・スケルトンプッシュ選手権大会を活用し、講師を招いたアンチドーピング講習会を開催して、参加選手に対しての啓蒙活動を行った。

行事名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
全体会議(インテグリティ・アンチドーピング講習)	東京	味の素 NTC	2019/6/30	29
アンチドーピング講習会(3 競技)	長野	スパイラル	2019/8/3	41
インテグリティ講習(SNS 利用について)				

■全体会議（会場：味の素 NTC 2019/6/30 開催）

（プログラム）

当初予定していたインテグリティとアンチドーピングだけではなく、スポーツ科学の最新情報や NTC の活用方法、サクラダイニングでの食事を踏まえた実践的な栄養に関するワークショップなどを一同で実施した。

10:00～10:20 連盟方針

10:20～11:20 インテグリティ講習

11:30～12:00 栄養講習

－昼休み－ サクラダイニングにてビュッフェ形式で昼食 各自でメニューを選ぶ

12:00～12:10 コーチ向け最新医科学情報

12:50～13:00 選手向け栄養講習ふりかえり

13:10～13:30 NTC の活用方法

13:30～14:50 アンチドーピング講習



－北野会長連盟方針説明－



－聴講選手・指導者－



－ワークショップ－

■アンチドーピング研修会・インテグリティ研修会（会場：スパイラル研修室 2019/8/3 開催）

（プログラム）

全日本プッシュ選手権終了後のタイミングで、インテグリティ研修（SNS について）とアンチドーピング研修をまとめて実施した。アンチドーピング研修は、6月に引き続き、2回目ということで応用を含んだ内容を選手に教育した。また、SNS 研修については、当初 9 月に実施を予定していたが、講師スケジュールと選手スケジュールの兼ね合いもあって、アンチドーピング研修と同じタイミングで実施した。内容は、普段から活用している SNS のメリットやリスクについて、JOC からの派遣講師を招いて、事例を交えて実施した。選手からは、「身近な SNS に潜むリスクを初めて知り、今日からすぐにでも活用したい」といった声が聴かれた。



－SNS 研修－



－アンチドーピング研修－

以上